

この安全データシートは以下の要件に従って作成された：
規則(EC) No. 1907/2006及び規則(EC) No. 1272/2008

発行日 17-1-2018

改訂日 11-6-2018

改定番号 1

セクション1：化学品及び会社情報

1.1. 製品特定名

製品コード 50508 - PBV000271
製品名 Espresso Clean

1.2. 化学物質または混合物に関連する推奨用途および使用上の制限

推奨用途 産業用途専用.

1.3. 安全データシートの提供者の詳細

供給者名 Cafetto
供給者の所在地 12 Coglin Street, Brompton SA 5007 Australia
Parkstraat 83 2514JG Den Haag, The Netherlands;
160 Robinson Road, #17-01 SBF Centre, Singapore 068914
供給者電話番号 Australia: +61 8 8245 6901
New Zealand: 0800 772 227
USA: 206 462 5212
EU: +44 20 7193 7370
Singapore: 800 616 3122
供給者電子メール enquiry@cafetto.com

詳細はお問い合わせください。

1.4. 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 情報なし

緊急連絡電話番号 § 45 - (EC)1272/2008

欧州 112

セクション2：危険有害性の要約

2.1. 化学物質または混合物の分類

規則(EC)No. 1272/2008

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分 2 - (H315)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分 2 - (H319)

2.2. ラベル要素



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H315 - 皮膚刺激

H319 - 強い眼刺激

注意書き - EU(S 28、1272/2008)

P261 - 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること

P302 + P352 - 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹼)で洗うこと

P305 + P351 + P338 - 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること

P264 - 取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと

P362 - 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること

P312 - 気分が悪いときは医師に連絡すること

P501 - Dispose of contents/container to an approved waste disposal plant

追加情報

この製品を一般大衆向けに供給する場合には、触知できる危険警告が必要である

2.3. その他の危険性

情報なし

セクション3：組成及び成分情報

3.1 化学物質

該当しない。

3.2 混合物

化学物質名	EC No	CAS番号	重量%	規則(EC)No. 1272/2008[CLP]による分類	REACH登録番号
Potassium carbonate	209-529-3	584-08-7	30-60%	Eye Irrit. 2 (H319) Skin Irrit. 2 (H315)	データがない
Sodium percarbonate	239-707-6	15630-89-4	10-30%	Ox. Sol. 2 (H272) Acute Tox. 4 (H302) Eye Dam. 1 (H318)	01-2119457268-30-0009
Sodium carbonate	207-838-8	497-19-8	10-30%	Eye Irrit. 2 (H319)	データがない

HフレーズおよびEUHフレーズの全文：セクション16を参照

この製品は、高懸念物質の候補物質(規則(EC)No. 1907/2006(REACH)、第59条)を0.1%以上の濃度で含んでいない

セクション4：応急措置



4.1. 応急措置の記載

一般的なアドバイス	治療を行う医師にこの安全性データシートを示すこと。
吸入	空気の新鮮な場所に移すこと。症状が出た場合には、直ちに医師の手当てをうけること。呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行うこと。直ちに医師の手当てを受けること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
皮膚接触	直ちに石鹸と多量の水で少なくとも15分間洗い落とすこと。刺激が生じて長引くときは、医師の手当てをうけること。
眼接触	少なくとも15分間、まぶたの裏側まで多量の水で洗うこと。洗っている間、目を大きく開くこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。刺激が生じて長引くときは、医師の手当てをうけること。受傷部をこすってはならない。
経口	無理に吐かせないこと。水で口内をすすいだ後、多量の水を飲むこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。医師の手当てを受けること。
応急処置を行う者本人の保護	皮膚、眼または衣類との接触を避けること。個人用保護衣を着用すること(項目8を参照)。医療者が物質の関与を認識していることを確認し、彼ら自身の保護および汚染の拡大を防止するために措置を講じること。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。指定された個人保護具を使用すること。詳細は項目8を参照。

4.2. 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

症状 灼熱感、咳および/または喘鳴、呼吸困難。

4.3. 直ちに行う手当て及び必要とされる特別な治療の指示

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

セクション5： 火災時の措置

5.1. 消火剤

適切な消火剤 現地の状況および周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 情報なし。

5.2. 化学物質または混合物から生じる特有の危険有害性

化学物質または混合物から生じる特有の危険有害性
熱分解すると刺激性かつ毒性のガスおよび蒸気を放出することがある。

危険有害性燃焼生成物
二酸化炭素。

5.3. 消火を行う者への助言

消火を行う者のための特別な保護具
消火を行う者は自給式呼吸器および消火活動用の装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

セクション6： 漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する注意事項 皮膚、眼または衣類との接触を避けること。十分換気されているか確認すること。

	指定された個人保護具を使用すること。粉塵の発生を避けること。粉じんを吸入しないこと。
その他の情報	項目7および8に記載の保護措置を参照のこと。
緊急時対応要員用	項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。
6.2. 環境に対する注意事項	
環境に対する注意事項	安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。
6.3. 封じ込め及び浄化の方法及び器材	
封じ込め方法	安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。
浄化方法	機械的にすくい取り、適切な容器に収容して廃棄すること。
6.4. 他のセクションを参照	
他の項目の参照	詳細は項目8を参照。詳細は項目13を参照。

セクション7： 取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全取扱注意事項

安全取扱注意事項	産業衛生および安全対策規範に従って取り扱うこと。皮膚、眼または衣類との接触を避けること。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。粉塵の発生を避けること。十分換気されているか確認すること。
一般的な衛生注意事項	適切な手袋および眼/顔面保護具を着用する。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。皮膚、眼または衣類との接触を避けること。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。

7.2. 混蝕危険物質を含む、安全な保管条件

保管条件	容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。子供の手の届かない場所に保管する。
------	--

7.3. 特定最終用途

リスク管理方法(RMM)	必要な情報は化学物質安全データシートに記載されている。
--------------	-----------------------------

項目8： ばく露防止及び保護措置

8.1. 管理パラメーター

被ばく限度

導出無毒性量(DNEL) 情報なし

予測無影響濃度(PNEC) 情報なし

8.2. 暴露防止

個人用保護具

眼／顔面の保護具	薬液飛沫が生じる可能性がある場合には、サイドシールド付きの安全眼鏡を着用すること。消費者使用には何も要求されない。
手の保護	適切な手袋を着用する。不浸透性手袋。
皮膚および身体の保護	適切な保護衣を着用する。長袖の衣類。
環境ばく露防止	情報なし。

セクション9：物理的及び化学的性質

9.1. 物理的及び化学的特性

物理的状态	粉体	
外観	白色	
臭い	特異臭	
色	情報なし	
臭いのしきい値	該当しない	
特性	値	備考 方法
pH	11.0 at 1%w/w	知見なし
融点 / 凝固点	データがない	知見なし
沸点 / 沸点範囲	データがない	知見なし
引火点	データがない	知見なし
蒸発速度	データがない	知見なし
燃焼性(固体、気体)	データがない	知見なし
空気中での可燃限界	データがない	知見なし
燃焼上限	データがない	
燃焼下限	データがない	
蒸気圧	データがない	知見なし
蒸気密度	データがない	知見なし
比重	データがない	知見なし
水への溶解度	完全に可溶性	知見なし
溶解度	データがない	知見なし
n - オクタノール/水分配係数	Not Available	知見なし
自然発火温度	データがない	知見なし
分解温度	データがない	知見なし
動粘性率	データがない	知見なし
粘度	データがない	知見なし

9.2. その他の情報

軟化点	情報なし
分子量	情報なし
VOC含有率 (%)	情報なし
蒸気濃度	情報なし
かさ密度	情報なし
粒径	情報なし
粒径分布	情報なし

セクション10：安定性及び反応性

10.1. 反応性

データがない。

10.2. 化学的安定性

通常の条件下で安定。

爆発データ
機械的衝撃に対する感度
静電放電に対する感度

なし。
なし。

10.3. 危険有害反応可能性

危険有害性反応の可能性 通常のプロセスではない。

危険有害性重合作用 危険有害性の重合は発生しない。

10.4. 避けるべき条件

過剰な熱。

10.5. 混蝕危険物質

強酸，強塩基，強力な酸化剤。

10.6. 危険有害な分解生成物

二酸化炭素。

セクション11： 有害性情報

11.1. 有害影響に関する情報

可能性のある暴露経路に関する情報

製品情報

吸入	この化学物質または混合物の特定試験データはない。気道刺激を引き起こすおそれがある。吸入すると有害である。(成分に基づく)。
眼接触	この化学物質または混合物の特定試験データはない。眼を刺激する。(成分に基づく)。発赤、掻痒感、および痛みを引き起こすおそれがある。強い眼刺激。
皮膚接触	この化学物質または混合物の特定試験データはない。皮膚刺激。(成分に基づく)。刺激を生じるおそれ。長期にわたる接触は発赤および刺激を引き起こすおそれがある。
経口	この化学物質または混合物の特定試験データはない。経口摂取すると、胃腸刺激、吐き気、嘔吐、および下痢を引き起こすおそれがある。飲み込むと有害。(成分に基づく)。

有害性情報

症状 発赤。眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。咳および/または喘鳴。

毒性の数値尺度

急性毒性

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出された

ATEmix(経口) 55,006 mg/kg mg/L

未知の急性毒性

混合物の 98.586 パーセントは未知の毒性を持つ成分で構成されている
 混合物の 2.4697 %は急性経口毒性が未知の成分から成る
 混合物の 98.586 %は急性経皮毒性が未知の成分から成る
 混合物の 98.586 %は急性吸入毒性(ガス)が未知の成分から成る
 混合物の 98.586 %は急性吸入毒性(蒸気)が未知の成分から成る
 混合物の 77.13698 %は急性吸入毒性(粉塵/ミスト)が未知の成分から成る

成分情報

化学物質名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
Potassium carbonate	= 1870 mg/kg (Rat)	-	-
Sodium percarbonate	= 1034 mg/kg (Rat)	> 2000 mg/kg (Rabbit)	-
Sodium carbonate	= 4090 mg/kg (Rat)	-	= 2300 mg/m ³ (Rat) 2 h

短期的及び長期的ばく露による直後の影響と遅発性の影響及び慢性的影響

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。皮膚を刺激する。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。眼を刺激する。

呼吸器感作性または皮膚感作性 情報なし。

生殖細胞変異原性 情報なし。

発がん性 情報なし。

生殖毒性 情報なし。

特定標的臓器毒性 - 単回ばく露 情報なし。

特定標的臓器毒性 - 反復ばく露 情報なし。

吸引性呼吸器有害性 情報なし。

セクション12：環境影響情報

12.1. 生態毒性

生態毒性 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

化学物質名	藻類に対して有毒	魚類に対して有毒	微生物に対する毒性	Daphnia magna (オオミジンコ)
Sodium percarbonate	240h EC50: = 70 mg/L (Chlorella emersonii)	96h LC50: = 70.7 mg/L (Pimephales promelas)	-	48h EC50: = 4.9 mg/L
Sodium carbonate	120h EC50: = 242 mg/L (Nitzschia)	96h LC50: 310 - 1220 mg/L (Pimephales promelas) 96h LC50: = 300 mg/L (Lepomis macrochirus)	-	48h EC50: = 265 mg/L

12.2. 残留性・分解性

残留性および分解性 情報なし。

12.3. 生態蓄積性

生物蓄積 情報なし。

12.4. 土壌中の移動性

土壌中の移動性 情報なし.

12.5. PBTおよびvPvBの評価結果

PBTおよびvPvB評価 情報なし.

化学物質名	PBTおよびvPvB評価
Potassium carbonate	本物質はPBT/vPvBでない
Sodium percarbonate	本物質はPBT/vPvBでない PBT評価は適用されない
Sodium carbonate	本物質はPBT/vPvBでない PBT評価は適用されない

12.6. その他の有害影響

他の有害影響 情報なし.

セクション13： 廃棄上の注意

13.1. 廃棄物処理方法

残留物/未使用製品からの廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染された梱包 情報なし.

セクション14： 輸送上の注意

IMDG/IMO

14.1 国連番号	規制対象外
14.2 正式輸送品目名	規制対象外
14.3 危険有害性クラス	規制対象外
14.4 容器等級	規制対象外
14.5 海洋汚染物質	該当しない
14.6 特別条項	なし
14.7 MARPOL 付属文書IIおよびIBCコードによるばら積み輸送	情報なし

RID

14.1 国連番号	規制対象外
14.2 正式輸送品目名	規制対象外
14.3 危険有害性クラス	規制対象外
14.4 容器等級	規制対象外
14.5 環境有害性	該当しない
14.6 特別条項	なし

ADR

14.1 国連番号	規制対象外
14.2 正式輸送品目名	規制対象外
14.3 危険有害性クラス	規制対象外
14.4 容器等級	規制対象外
14.5 環境有害性	該当しない
14.6 特別条項	なし

IATA

14.1 国連番号	規制対象外
14.2 正式輸送品目名	NON REGULATED
14.3 危険有害性クラス	規制対象外
14.4 容器等級	規制対象外

14.5 環境有害性 該当しない
 14.6 特別条項 なし

セクション15：適用法令

15.1. 化学物質又は混合物に固有の安全、衛生及び環境規規則/法令

国際規則

フランス
 職業病(R - 463 - 3、フランス)

化学物質名	フランスRG番号	タイトル
Potassium carbonate 584-08-7	RG 58, RG 67	-

ヨーロッパ連合

作業場での化学物質に関するリスクからの労働者の保護に関する指令98/24/ECに留意すること。

使用上の許認可または制限：

この製品は、許認可の対象となる物質(規則(EC)No. 1907/2006(REACH)、附属書XIV)を含んでいない。この製品は、制限(規則(EC)No. 1907/2006(REACH)、附属書XVII)の対象となる物質を含んでいない。

残留性有機汚染物質

該当しない。

セブソ指令(2012/18/EU)による危険物区分

E2 - 水生環境に対して危険有害性、区分慢性2

オゾン破壊物質(OD)規則(EC)1005/2009

該当しない。

15.2. 化学物質安全性評価

情報なし。

セクション16：その他の情報

安全データシートで使用される略語および頭文字のキーまたは凡例

セクション2および3に示されたHステートメントの全文

H272 - 火災助長のおそれ：酸化性物質
 H302 - 飲み込むと有害
 H318 - 重篤な眼の損傷
 H319 - 強い眼刺激
 H315 - 皮膚刺激
 H335 - 呼吸器への刺激のおそれ

凡例

SVHC：許認可の対象となる高懸念物質：

項目8：ばく露防止及び保護措置

TWA	TWA(時間加重平均)	STEL	STEL(短時間暴露限度)
天井値	最大限界値	-	皮膚兆候

主要参考文献とデータの出典

www.ChemADVISOR.com/

発行日 17-1-2018

改訂日 11-6-2018

この安全データシートは以下の要件に準拠している： 規則(EC) No. 1907/2006.

免責事項

この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシートの終わり

